

目 次

1	健康への公共的対応—公衆衛生機構への関心	5
	松田 亮三（立命館大学産業社会学部）	
2	第1回日英公衆衛生機構比較研究会議について	17
	松田 亮三（立命館大学産業社会学部）	
3	イングランド・日本の公衆衛生機構	27
	(1) イングランドの新しい公衆衛生機構 ジェニファー・ハリーズ（イングランド公衆衛生庁）	
	(2) 日本の公衆衛生行政とその課題 椎葉 茂樹（厚生労働省）	
	(3) イングランドにおける公衆衛生機構の発展：その略史と将来展望 デイビット・ハンター（ダラム大学・保健政策管理学部／ 公共政策・健康研究所）	
4	イングランド・日本の地方公衆衛生機構と疾病対策	47
	(1) ケントの公衆衛生 アンドリュー・スコット・クラーク（ケント・カウンティ・カウンシル）	
	(2) 奈良県の公衆衛生の現状と課題 山田 全啓（奈良県葛城保健所）	
	(3) 公衆衛生行政—市町村の視点から 土井 渉（京都市保健所）	
	(4) 公衆衛生サービスの実施—糖尿病について エリカ・ガッツビー（ケント大学・保健医療サービス 研究センター研究員） スティーブン・ペッカム（ケント大学・ロンドン大学熱帯 医学衛生学大学院兼任教授）	
5	結び—公衆衛生機構のさらなる検討に向けて	75
	(1) 第1回日英公衆衛生行政機構比較研究会議を終えて 中原 俊隆（京都大学大学院医学研究科）	
	(2) 公衆衛生機構の比較—さらなる検討に向けて 松田 亮三（立命館大学産業社会学部）	
付属資料	第1回日英公衆衛生機構比較研究会議報告者・組織者紹介	83